

子宝支援助成事業について



さいとうてるお
齋藤照夫 議員

問 我国の合計特殊出生率は年々減り続け昨年の出生率は1・42となっている。昨今少子高齢化が問題となっているが、町における不妊治療または不育症治療を受けている夫婦数は何組あるか。

答 少子高齢化や晩婚化が進む中で、不妊に悩む夫婦は増えてきているが、不妊治療者数については町で把握することは不可能である。

問 不妊治療または不育症治療にかかる、夫婦ひと組あたりの年間治療費負担はいくらになるか。

答 不妊治療に当たってはそれぞれの状態で治療内容は違い一概にいくらかかるとは言えないが、保険が適用される自然妊娠を助ける治療の場合には、一周期当たり5千円から1万円程度、保険外適用の人工授精の場合一周期あたり1万円から3万円程度、体外受精については30万から50万円程度と伺っている。

問 県でも保険適用にならない不妊治療に対して、治療費を助成する不妊治療助成制度を実施しているが、町でも県の助成金に上乘せし、子宝を望むご夫婦を経済的にサポートする町の取り組みは。

答 近隣では上尾市と鴻巣市が独自の助成制度を実施している。町でもその他の実施状況や財政状況をしながら、今後検討したい。



子供の笑顔はみんなの宝

決算特別委員会

平成26年度の一般会計他全7会計の決算を審査するため、議長および監査委員を除く議員14名による決算特別委員会を設置し、10月29日・30日に審査。



大沢 淳 委員長



奥田とみ子 副委員長

委員長あいさつ

この度、決算特別委員会委員長の任を拝命しました。

決算特別委員会は前年度の決算審査をおこないます。

決算審査は予算の執行結果が無駄なく適正であったかを点検し、新規事業をはじめとした各事業の成果を検証することを主な目的としています。

さらにその結果を次年度以降の予算編成や執行

に生かしていくことも期待されます。

これらの目的を達成するため、委員会運営においては、全委員の積極的な発言を保障し、慎重かつ活発な審査が行われるよう努めさせていただきます。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例議会の開催予定日は、

11月27日(金)です。

次の議会は



詳しい日程は11月下旬に決定します。